新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波潔
印刷人 水越内之介

北洋漁業問題にソ聯の誠意缺如

わが方一擧解決期す

【東京國通】日ソ兩國關係打開の先決問題たる諸懸案のうち北洋漁業問題は現行假條約改訂期が本年末に切迫してゐるので野村外相は去る十一月十五日外務省にスメターニン駐日ソ聯大使を招致し右漁業問題に關し速かに商議を開きたき旨を通告し更に同廿八日重ねてス大使と會見し漁業問題に關する商議開始方を督促すると共にかゝる懸案解決に依つて日ソ兩國關係の正常化を期待してゐる帝國政府の希望を表明した、これに對しスメターニン大使は本國政府の回訓未着のため商議に入ること不可能であるが、速かに回訓を接受し得るやう督促すべき旨答へたがその後二旬を經たる今日にいたるもソ聯側より何ら具體的折衝を行はんとする態度を示し來らず一方モスクワに於ても東郷大使はモロトフ外務人民委員に對し東京に於ける北洋漁業問題商議を可及的速かに開催されたい旨再三に亘つて申入れたるにも拘らずこれまた滿足なる回答に接せざる狀態である

決然たる措置要望

各方面の意見硬化す

言ふまでもなく北洋漁業權益は帝國が日露戰爭を通じ血をもつて購つた重大權益であり、これを正當正常なる關係に置換へざる限り日ソ國交關係打開は國民的感情の許容せざる所であるにも拘らず昭和十二年日ソ漁業條約が廢棄となつて以來暫定協定を重ねること三度、今四度重ねてこの重大權益の歸趨に關し折衝が行はれんとするのであつて、この際北洋漁業權益を定着せしむるに關し本格的交渉を行はんとすることは我國朝野を擧げての熱烈なる要望である、然るにソ聯側は右商議に對してなほ不透明なる態度を持しつゝあることは甚だ奇異の感じをいだかしめるものがありソ聯側に於て今後とも不誠意なる態度を持續するに於ては帝國としては北洋漁業權益確保に關し決然たる措置に出づべきであるとの議論が漸く昂り、來る議會に北洋漁業經營の上に帝國の國家的意慾を如實に盛るべき方途を講ずべきであるとの意見が現はれ形勢頗る險惡となりこの情勢に應じ政府各方面に於ても近くこれが對策につき協議を開始する用意を整へてをり北洋漁業條約改訂問題は正に國內の關心事たらんとしてゐる

各特別會計

本月中に決定

【東京國通】明年度豫算は一般會計及び臨時軍事費豫算を合し百三億六千萬圓の閣議決定により殆んどその全貌を明かにしたが右の外特別會計豫算については本月中に決定すべく目下大藏省主計局でその編成を進めてゐる、しかしてこれら特別會計については鐵道の新規建設計畫をはじめ通信事業、朝鮮總督府豫算を通じて相當の資金、物資、動力を必要とするものと豫想され主計局としてはあくまで明年度豫算編成方針に則り明年度物動計畫と睨み合せて嚴重なる査定を行ふべく、即ち公債發行額についても本年度の二億二千萬圓を絶對に超えざるやう關係各省と折衝を進めてゐる

山岳地帶を猛進擊！（廣西作戰）

懸案の開拓局設置

大體六月ごろ實現か

【東京國通】紀元二千六百年を期して一段と飛躍すべきわが開拓民政策につき拓務省では決定を見たる明年度豫算に基き實施計畫に萬全を期してをり、この中にも機構擴充、即ち滿洲開拓を目標とする開拓局の新設は今後の開拓政策諸般を實行する上に本省として基本的體制をとる重要なるものであるが、この新設費五萬八千圓は要求額より或る程度の削減をうけたゝめ當初計畫の訓練、保護、指導、奬勵、斡旋、企畫、勤務奉仕、庶務の八課を五課に縮める必要が生じたので計畫は根本的に再出發をすることとなつた、しかしてこれを五課にまとめるに際しては義勇軍、集團開拓、女子拓植等を中心に計畫を進め限られたる豫算をして最效果的實績を擧げるべく苦心せんとしてゐるが局開設も亦可及的速かに大體六月頃開局せんと意氣込んでゐる

適正物價設定に業者の協力俟つ

財經諸問題につき青木藏相語る

【戸倉國通】展墓のため歸省した靑木藏相は九日午後三時半長野更級郡牧鄕村の生家に入つたが、明年度豫算の施行、經濟統制の强化、戰時物價對策、公債消化と金融政策等當面の財政經濟諸問題につき左の如き談話を行つたが、特に物價對策としては當業者の協定價格を尊重する旨を言明したことは政府從來の物價委員會中心主義に對し極めて注目され、又公債消化については公募方法によらず依然として日銀引受主義を嚴守するとの極めて注目すべき意見を開陳した

△明年度豫算　昭和十五年度一般會計概要は總額五十九億圓で本年度豫算額に比し約十二億圓の增加であるが、これは主として軍備の充實に關する經費、軍事補助、傷痍軍人保護その他軍事援護に關する經費、生產力擴充に關する經費等に多額の經費を要するためと臨時軍事費財源繰込額の增加等によるものであつて飽迄事變目的達成を大眼目として決定した●のである又次の議會に提出せらるべき臨時軍事費豫算の追加要求についても一般會計概算の審査と並んで決定を見たが、この額は四十四億六千萬圓である兩者を合算すれば實に百三億六千萬圓の巨額に達するこの尨大豫算の實行に當つては物資、資金、勞務物價等戰時經濟各般の見地から政府も國民も共に一體となつて愼重なる注意を要するが結局物資、資金の計畫性をさらに强化徹底せしめねばならぬ

△計畫經濟と國民の覺悟　そこでこの計畫經濟であるがこれが根幹をなすものは制度とその運用並に國民の協力と言ふ三者が一體化し合理的な協和協調を具現することである自分はこの點について二つのことを考へてゐる即ち一つは統制を受くる國民は自から統制の對象と考へ統制國策が自己と異つた對立的制度であると思つてはならぬ、統制の運用は政府のみではなく、國民を統制機關の一部としてその組織の中に一入つて戴かねばならぬ、そうすれば戰時經濟が非經濟的營利の機會等と言ふ考へ方は自然解消するであらう、國民をしてかく協力せしめることは勿論政府の責任であるが、議會でも言論機關でも國民にこれを理想として協力を求めて欲しいものである、その二つは統制に依る國民の犧牲を緩和することであるがこれは單なる技術ではなくその本質を認識して貰ひたい、即ち統制による國民の犧牲はやり方の上手下手のみによつて根本的に解決されるものではない、即ち技術で達成し得るものには一定の限界がある、政府のやり方でもまづい處があるかも知れないが然し技術だけではどうにもならない本質的な統制の犧牲が存在することを認識して貰ひたい

△適正價格と統制價格　九・一八物價に依る物價の一般的釘付については政府も逐次各種の商品に對し具體的な適正價格を設定する方針であるが何萬と言ふ數に上る物價を全部檢討して適正價格を定める事は極めて困難であつてどうしても當業者の協力に俟たねばならぬのであつて當業者が營利的、打算的、個人的利益に捉はれて國家的見地から適正價格を協定し公定價格を中心として戰時物價政策に協力せられることが必要であると思ふ

△資金統制と公債消化　金融上の當面の問題としては資金統制と年末年始の對策がある、政府は去る七月臨時資金調整委員會を開き其際取敢へず事業資金調達準備法を改正して同法の運用を强化することになつた、尙運轉資金の貸出については差當つては現在通りこれを自由として置いたが、思惑資金の貸付をなさゞる樣充分戒心せん事を要望しつゝあるのであつて近く適當の方法に依り金融機關より報告を聽取する心算である、次に年末金融の對策としては政府は出來得る限りこれが圓滑なる運用を期したい考へである、そこで必要に應じて政府資金の融通も又考慮して居るが、唯問題はこれら一部資金の回收にかゝつて居る、通貨量の尨大に伴つて日銀保障發行の限度の擴張も考へねばならないのではないかが金融の安全を保持する爲にはどうしても政府資金の回收を行はねばならぬ、然るに本年一月以降の公債發行額四十六億三千餘萬圓に對し消化額は去る七日現在では四十二億百餘萬圓に達し九割强の消化率を示してゐるから大體順調な消化狀況と見てゐる、勿論これで滿足すべきではなく更に一層の消化を促進するためあらゆる角度から適正なる措置を講じたいと思ふ併し法律的强制を保有とか割當消化の方法を執ることは全然考へない、又公債の消化については現在のところ考慮してゐない日銀引受主義で進む方針である

兩民族提携に起て

我南寧駐屯軍 白、李に通電發す

【廣東十日發國通】南支派遣軍報道部十日午後一時發表＝南寧來電によれば南寧方面大日本軍司令官は十日白崇禧、李宗仁兩將軍に對し左の如く通電せり

△白崇禧、李宗仁に與ふる書

一、大日本軍は蔣介石政權と佛領印度支那との交通線遮斷を唯一の目的とし南寧地方を占領せり

一、わが南寧方面で大日本軍は廣西省における白、李兩將軍の施設、その政令の徹底とに多大の敬意を表しその經營の破壞を極力さけんことに留意しまた兩將軍治下の一般民衆の生命財產とその幸福を保護せんことに充分の努力を致さんことを欲する

一、將軍よ世界の大勢を洞察し起ちて東亞における同文同種の兩民族提携の促進に邁進せよ

一、將軍にして悟るところなく敢へて大日本軍に敵對せんとするにおいては何時にても全兵力を擧げて南寧に來れ、わが南寧駐屯軍は獨力をもつて將軍の五十萬の軍隊と對抗して尙よく戰勝を獲得し得る兵力と裝備と航空兵力と確信とを有するものなり

一、將軍の部下にして南寧地方の戰鬪において戰死を遂げたる四千二百餘の戰歿勇士はこれを南岸中山公園に合葬し鄭重供養しあり心を安んぜよ

昭和十四年十二月十日　南寧方面大日本軍

海鷲中南支活躍

【上海十日發國通】艦隊報道部十日午後四時發表＝

一、中支方面戰況、昨九日海軍航空部隊の有力なる部隊は黔陽（湖南省）を急襲同地江岸の敵新設軍需工場群に全彈を集中その大部を爆碎、內一ヶ所は大炸裂と共に黑煙濛々と天に沖するを認めたり

一、南支方面、海軍航空部隊は八日陸軍の作戰に協力し南寧東南方敵據點那衡墟を前後二回反復爆擊し敵集團及び軍需品倉庫に大なる損害を與へたり

蔣に排共通電

薛龍連名で爆彈要求

【香港十日發國通】最近地方將領間における反共運動は次第に熾烈化の傾向にあるが、當地に達した確報によれば湖南省政府主席薛岳は、雲南省政府主席龍雲と共に連名をもつて突如國民黨中央部最高國防會議及び重慶政府に對して長文の通電を發し共產黨の國民黨ならびに政府乘取り陰謀を暴露するとゝもに三ヶ條の反共强硬要求を提出、當局の斷乎たる態度を要求した、

通電要旨左の通り

余等兩名は中央當局に對し左の三項を斷行されんことを要求す

一、三民主義の本領を强調し黨の基礎を强化するため國民黨大改組を斷行、黨內不純分子を根絕せよ

一、重慶政府は國民黨生拔きの古參黨員中の俊秀分子をもつてこれを組織し共產分子を一切排除せよ

一、行政院部長に共產分子の就任するを絕對排除せよ、惟ふに內部の反逆者を芟除し得ずしていづくんぞ外部の敵を破り得んや、黨首腦部は宜しく決定的手段をとり忠實なる黨員をして奮起、黨の危機を擔當せしむべし

新政權樹立促進大會

漢口で擧行

【漢口十日發國通】武漢靑年協會主催の武漢民衆新中央政權促進大會は十日午後二時より漢口新市場で盛大に擧行された、參加人員二千名、まづ會長雷壽榮氏の開會挨拶につぎ新政權成立促進の宣言文を朗讀、更に大會決議によつて汪精衞、王克敏、梁鴻志の三巨頭および大民會、新民會宛てに激勵の通電を發した、また重慶政府蔣介石宛てに左の要旨の通電を發し大會終了後街頭行進を行つた

日本は近衞聲明以來擧國一致して中國の獨立と東洋永遠の和平を齎らし、もつて兩國關係を調整せんとす、されば一日も早く和平の態度をとり前線各軍に停戰を命じ對日交涉を汪精衞氏に委せ近衞聲明に基き和平によつて國家命脈を挽救せよ

芬に同情集る

獨伊も義勇軍募集

【ロンドン九日發國通】ソ聯、フィンランド開戰以來フィンランドに對する各國の同情は翕然として集りつつあるが、九日判明した各國の對フィンランド救援狀況はつぎの通りである

一、英國は最近フィンランドに對し砲數門を送付したほか近くガスマスク六萬個を提供することになつた

一、イタリーは既は數十臺の軍用機を提供して來たが、今後更により以上の飛行機を輸出する方針でその他近く國內においても對フィンランド救援義勇軍の募集を行ふと傳へられる

一、ソ聯と提携しつゝあるドイツも對フィンランド援助には相當熱心で目下義勇軍の募集計畫を有するほか新たに對戰車砲多數を提供すべく準備中と傳へられる

久原參議等渡滿

【東京國通】久原參議は十二日滿支視察の途につくが元外相吉澤謙吉代議士、大口喜六、西川貞一の三氏も同行することになつた、一行は十二日午前六時半羽田飛行場發空路新京に赴き、更に北京、天津、南京、上海の各地を歷訪し、各方面要人と會見事變處理に關し種々意見の交換を行ひ、二十五日頃歸京の豫定

今吉司政部長

明年度豫算折衝のため約一ヶ月に亘り東上中であつた今吉關東局司政部長は十日午後零時十五分（遲延）着のぞみで歸京した

人事往來

▲宇田一氏（奉天農科大學長）十日來京ヤマトホテル
▲倉岡巳辰氏（開原協和會事務長）同
▲高柳保太郎氏（泰東日報社長）同
▲白崎濱一氏（會社重役）同
▲岐部日吉氏（肥後木材常務取締役）三國ホテル
▲佐竹省一郎氏（三井物產）同
▲渡邊二氏（國際社）同
▲竹上文雄氏（平安北道鹽綿製造所）同
▲萩原昇次氏（三井物產）同
▲永山克己氏（滿洲勞工協會濟南支部長）同
▲上谷政一氏（福昌公司）同
▲齋藤增次氏（鴨綠江採木公司）同
▲島村六郎兵衞氏（興泰號代表社員）同
▲雀部武夫氏（松村組）同
▲平部宏氏（延和金鑛）國都ホテル
▲林靜氏（大倉商事）同
▲宗義太氏（奉天精鍊廠）同
▲文室重敏氏（機械商）同
▲宗敏雄氏（官吏）國際ホテル
▲安宅龜之助氏（綿業聯合會）櫻ホテル

四溫

この兩三年來、つまり產業五ヶ年計畫着手このかた勞働力の不足が感じられ、特に北邊振興工作が始められてからは、一層痛感せられるに至つたことは周知の通りである▼そこで大東公司と勞工協會との統合も行はれ、勞力動員の機構が强化され、山東、河北等の北支からの苦力輸入にも格段の力を用ひると共に、國內勞働者の動員にも馬力をかけられるに至つたが、生產力擴充その他の建設工作が進むにつれて、益々勞力不足は急をつげるに至つた▼その結果の一つは勞賃の暴騰となつてあらはれ、農繁期における農業勞働者の賃銀は、三圓から四圓にも達したことがある▼元來滿洲の經濟的强味の一つは、勞力が安いといふことにあつたのだ▼その能率に比べて果して眞に經濟的であるかどうかについては、仕事の種類により議論もあらうが、一般の單なる筋肉勞働については、機械力を用ゐるよりは安價な勞働力を用ふるを可としまた便とした こと疑ひを容れない▼一日三十錢から五、六十錢までの賃銀を普通とした時代には、滿洲はたしかに經濟上の强味をもつてゐた▼然るに能率に何等の向上がないのに、また生產物の對外價値に著しい高騰もないのに國內における勞賃が、從前に比し數倍に暴騰したといふことは何としても由々しい問題である▼ところがこの勞働不足、勞賃高騰といふことは單に經濟問題にとどまらず、これに附隨する現象が政治上――特に東亞新秩序建設上に少からぬ影響を與へることを思はねばならぬ▼一例をあげよう▼北邊某地區における公定賃銀は一圓七十錢だが、實際には二圓乃至三圓となつてゐる▼これだけの勞賃を得れば苦力たちは眞に滿足する筈であるが、實は甚しく不平であり不滿であるといふ 何故か？▼理由は簡單だ、この二圓乃至三圓と支拂はれる賃銀がそのまゝ手に入らずに、中間搾取が行はれるからだ▼中間搾取者は普通、工頭、大苦力頭、小苦力頭の三段階になつて居る▼搾取の方法はまづ第一に衣食用品の取次ぎだ▼たとへば一袋七圓の小麥粉は、工頭が一圓とつて八圓で大苦力頭に賣る、大苦力頭がまた一圓とつて九圓で小苦力頭に賣り小苦力頭は五十錢の手數料（？）をとつて苦力は結局七圓のものを九圓五十錢で買はされる▼衣類についても同樣だ▼旅費の立替も大きな搾取組織であつて、周旋人等は船車賃等を立替へておいて、月利二割で年末に苦力歸國の際差引くのだ▼その他バクチの開帳をやつて、無智でバクチ好きな苦力達をさんざんに搾つてはだかにしてしまふ手も用ゐられてゐる▼かくて海山何百里はるかに山東から出稼ぎに來て、一季節働いた苦力たちは、いざ歸國といふときに及んで、故鄕にまちかまへてゐる一族への何よりのみやげのお金が、極めて少いといふことになる▼故鄕の山東では年工の勞賃が食事つきではあるが二十圓位だといふから、滿洲で手取り一日一圓はおろか六、七十錢になつても大喜びのはずだが事實は不平不滿にたへない有樣なんだ▼あの支那事變の初期に關東州や奉天省、錦州省あたりから馬もろともに徵發された農民達が、その高くて正確な支拂に滿悅しその結果北支大衆に傳へた樂土滿洲の印象の大きかつたことを思ふにつけ山東苦力の歸國後の宣傳力がどんなものかを案ぜずには居れない▼來年から勞務司が新設されるといふことだが、勞務行政の當局は、勞務動員とか、勞動力調整の仕事にあたつて上述のやうな問題にも常に頭をつかつて善處して貰ひたいものである

本日朝刊四頁

豆作者と畫伯に 空から國都見物

滿洲空務協會新京支部が廣く兒童から募集した第二回飛行機綴方作品に見事一等に入賞した櫻木小學校竹田敬里（一二）君ほか九名の豆作者と畫伯に御褒美として十日午後一時から新裝の新京飛行場から滿航スーパー隼號であこがれの大空から國都を見物させた

師走商戰愈よ酣
自肅下にもナス景氣は氾濫
各商店大賣出續々火蓋切る

日足の早い師走の月、既に上旬は慌しく去つた、そしてボーナス景氣に氾濫歲末情景が巷に色濃く描かれ商店街に一段の活氣を呈するのも愈よこれからである、去る一日から吳服、蒲團、洋服商によつて火蓋を切つた新京商店同業聯合會の歲末聯合景品附大賣出しも、さらにけふ十一日から商聯加盟店の和洋雜貨、菓子、時計、貴金屬、寫眞機商がどつと參加商戰に華々しく乘り出す

奢侈抑制の時局線に即應して例年に見る色彩豐かな飾りも見ぬつゝましやかな商戰ではあるが、興銀儲蓄債券並に商品券の景品附に各店とも頗る張り切つて客足に意氣込み待機してゐる

一方小賣商の向ふを張つて百貨店でも共同戰線を張り來る十五日より全店夜間營業を開始、顧客に呼びかけボーナスにたんまりふくらんだ市民の懷をたゝかせやうといふ、國都の商戰は迫る年の瀨と共に愈よ本格化して來た

大西洋上にあり
吾妻丸無事の無電

【東京國通】スコツトランド沖でS・O・Sを發したと傳へられた吾妻丸に付いて郵船本社では各方面を動員し行方を確めたところ九日午後十一時五十五分に至り中久木船長より本船は安全に大西洋を航行中にして廿日パナマのクリストバルに到着の豫定との無電連絡があつた、遭難を傳へられた吾妻丸の安否を氣遣つて憂愁に閉されてゐる郵船本社では「無事大西洋上にあり」の吾妻丸の無電に今までの暗い表情も吹き飛んで海務課齋藤副長は無電を手にしたまゝ喜びを滿面に湛へて語る

簡單な電文で未だ詳細は分りませんが吾妻丸が兎に角無事であつたことだけは確かです、何しろ遠方の事と戰爭中のため思ふ樣に連絡が出來ず隨分心配しましたよ、S・O・Sを發した船が判明すれば萬事解決ですね、何處の船にしても無事を祈る許りです【寫眞吾妻丸】

ガラ場不正事件愈よ擴大！

李、徐自白で更に共犯二名新登場
徐の横領一萬二千圓の巨額

旣報、新京賽馬場ガラ抽籤場不正事件は主犯李駿基（二四）の外に昨年より數十回に亘る犯行を重ね平然として賽馬場屬官に治まり返り、ガラ抽籤場係りを奇禍として周圍の雇人を巧みに籠絡し驚くべき巨額によるいかさま抽籤に味を占め而走るガラファンを尻目に悠々當籤金を着服、大人生活を續けてゐた徐哲儒（四二）の登場となつて再び新たな波紋を投ずるに至つたが、その後嚴重なる追及に事件は更らに急轉回して同賽馬場日系官吏大井鶴吉（二八）その嫌疑濃厚となり十日自宅において檢束取調を開始、かくて事件は愈よ擴大今や止る所を知らざる狀態となり頗る重大視されるに到つた

九日から十日午前四時に掛けて行はれた風紀取締一齊檢索の疲勞にもめげず順天署では平岡司法主任以下總動員で賽馬抽籤場に絡まる不正事件の取調べを續行してゐるが同署では李駿基（二四）並に徐哲儒（四二）の自述に依る曙町一丁目十八番地飯田花子（三七）＝假名＝を小林刑事が十日午前十一時自宅に於て檢擧本署に引致取調べの結果本年春季競馬から前記兩名と結託、前後十四回に亘つて二千六百七十圓を橫領、中三百圓を賽馬場內居住大井鶴吉（二八）に手交、殘額二千三百七十圓を徐と半々に分配、李より八百六十圓を口止料として貰ひ受けてゐる事實が明白となつた、これに依つて九日單に參考人として召喚取調べを行つた大井を再び十日午後五時十分本署に引致して留置取調べを行つてゐる

一方徐は係員峻烈な取調べに現在迄に自白した犯行は本年春季競馬から秋に掛けて五千九百四十六圓、昨康德五年春競馬から秋に掛けて二十四回約六千七百七十五圓を夫々西四道街日升隆川心院五號居住息子慶鵬（一三）飯田花子（三七）李駿基（二四）の二名と共謀して橫領してゐた事を自白した

これに依つて嚴正であるべき賽馬場抽籤場は主任以下全部がとんだ協和振りを發揮して思ひの儘に抽籤玉を轉がし薄給の身に餘る大人生活を營んでゐたものであるが惡の榮華の夢も一朝にして當局の手によつて破られ、この外に本事件に關連してゐる日人共犯者數名にも時を移さず肅正のメスがふるはれることにならう

開拓戰士現地へ

若き鍬の戰士、第三次靑少年義勇隊百七十二名は淸津經由十日午前九時四十分（遲延）着列車で防寒服にリユツク姿も凜々しく着京直ちに滿鐵支社食堂で食事を認め、同十時半發列車で勇躍現地に出發した

桃色の夢破る
眞夜中の鐵槌
風紀紊亂者總檢束

首都警察廳では十日午前零時三十分を期して各署保安係員、外勤當務員を總動員全市を約三時間に亘り嚴密なる風紀取締りを疾風迅雷的に敢行した、兎角の風評ある內鮮滿旅館を虱潰しに檢索、一夜の逢引に又は闇取引に風紀を紊亂してゐる者を片つ端からそれぞれ本署へ連行徹底した糺明をなすとゝもに不審者は容赦なく檢束、引續き取調べを進めてゐるが、同夜各署檢索班の網に引ッ掛つた獲物は次の如くである

▲中央通署では檢索班を四個に編成、かねて內偵注視しつゝあつた個所を襲つて檢問の結果、新京驛前滿人旅館悅來棧ほか三軒から滿人密淫賣婦六組吉野町新華旅社で半島人一組、三笠町中央旅社で邦人一組その他の個所より邦人三組、半島人二組滿人三組合計十六組三十二名の風紀紊亂者を檢束森保安主任以下係員によつて取調べをなしてゐるが、とんだアベックになつたものと底冷えのする取調室でぶるぶるの態であつた、なほこの檢索には瀧本警務科長は小川警正、本田保安股長を同道午前二時三十分頃まで吉野、三笠、富士町一帶檢索の吉成警尉班の檢問振りを實地見聞した

滿洲色盛つた年賀狀を發送
新京放送局から全世界へ

新京中央放送局の對外放送は全世界のラヂオファンから非常な好評をもつて迎へられてゐるが、滿洲電々放送部及び同局では日頃熱心な投書を寄せる國外聽取者及び外國の各放送局にお手のものゝマイク通じて肉聲でクリスマスおめでたうを送るほか赤地に「恭賀新禧」の四文字と童子像を描いた滿洲色豐かな年賀狀五百枚新興滿洲國の放送界の現狀を紹介する英文の手紙と共に九日世界各地へ配送した【寫眞は年賀狀】

待合室で掏らる

淸和街三四號劉德さんは九日午後三時頃新京驛三等待合室の雜沓中で外套ポケットから現金百六十圓在中二ッ折財布を何者かに掏られてゐるのに氣付いて警護隊驛詰所へ屆け出た

社員の送り迎へに大型バス運轉
交通會社に賴つてをれぬ！
通勤難一掃に 滿洲鑛山奮發

國都ならではみられない勤人泣かせの交通地獄の出現に政府ではこれが緩和を考へ拔いた擧句最後の切札として各官廳ならびに特殊會社の執務時間を三部制とすることゝし、十一日より實施をみるが、大同大街滿洲鑛山會社では三部制による通勤時、バスの混雜は或る程度緩和されるとしても、肝心の足バスが寒波襲來の都度エンコする數が多くなるので四百餘名に上る社員がみなバスに依存するときは不便甚しく到底完全なる社業の遂行は期し難いとて考へ出したのが大型車二台の運轉で、出退時には社宅滿山莊、桔梗莊、東光寮、東安社宅滿山製作所研究所ならびに技術員養成所へ社員の送り迎へをなすことになりこれが運轉特許方を九日午前首都警察廳保安科へ願ひ出たが、四百餘の社員もこれからは一時間もの立ン棒遲刻はしなくとも濟むしその上車馬賃が不要と來てゐる至れり盡せりの會社のサービスにホクホクの大喜びであるが、足に泣く勤人連を羨望させるとゝもに街の話題を賑はしてゐる

古城英文滿報 前社長追悼會

マンチユリア・デーリー・ニユース前社長古城胤秀氏の一周年忌追悼會は十日午後三時から八島通り同社階上社長室に靈位を飾り定刻小野社長靈前に故人の希望であつた同社新京移轉を完了し社運はますます發展しつゝあるを報告、僧侶の讀經裡に燒香をすまし、太原重役の挨拶があつて散會したが大連からわざわざ列席の元社長高柳將軍を始め各新聞通信社代表弘報關係者その他多數參列した

國通故小澤氏追悼式

去る廿四日張家口において逝つた滿洲國通信社蒙疆支社通信部長小澤昌次氏の追悼式は十一日國通講堂において社員會主催のもとに森田社長以下全員參集、嚴肅に執行される、一般知友諸氏の參加を希望されてゐる

七分搗

▼笹亭千鳥、カフエー精養軒を經營する藤井甚作氏は大新京カフエー組合相談役の肩書を持ちネオン街の元老として自他共に許し問題の多い業界の一朝有事に際しては乘り出していゝ切れ味を見せて來たが▼去る日太子堂に開催したカフエー組合總會の席上に於て業者に一場の訓示をした▼この業界が社會より一段の注目を浴び批判され且つ問題を惹起することは業者が餘りにも自己主義であるからだ、時局を認識せず自己主義を改めぬ時は自滅への墓穴を掘ることである▼と、業者には隨分痛い言葉であつたが全くその通りと一同今さらの如く納得

天氣と氣溫

けふの天氣　北西の風晴一時曇

きのふ氣溫　最高零下十三度三　最低零下十九度二

練習不足で好記錄出でず
新奉對抗氷上新京記錄會終る

今シーズンのトップを切り多大の期待をかけられた第三回新奉對抗氷上競技大會新京記錄會は快晴に惠まれた十日午前十時より兒玉公園スケート場に於て擧行された、この日氣溫非常に低かつたが氷質は申分なく好記錄が出るのではないかと思はれたが、各選手の練習不足で案外低調であつた、記錄左の通り【寫眞はホッケー戰】

男子の部

△五百米 1內藤（滿炭）四七秒二 2田村（新商）四七秒八 3大谷（鑛發）四八秒三 4松田（新中）四八秒七 5鴨井（新商）五〇秒 6李（新商）五一秒三 7坂本（新商）五一秒一 8岡本（教員）五一秒八 9角田（新商）五二秒二 10岡本（新商）五三秒四 11宮本（新中）五四秒二 12成瀨（滿炭）五四秒三 13金堂里（市公署）五五秒二 14眞々田（新商）五五秒五 15江口（新中）五五秒六 16白川（新商）五六秒 17具滋根（市公署）五六秒二 18江崎（新商）五六秒七 19五味（新中）五七秒一 20龜田（新商）五七秒五 21宗群僧（第一國）六六秒 22具滋渉（市公署）七六秒

△三千米 1方景河（市公署）五分四一秒一 2安達（一般）五分五三秒五 3岡本（教員）五分五八秒 4鴨井（新商）六分一七秒 5山下（新商）六分二五秒 6眞々田（新商）六分二九秒二 7內山（新商）六分二八秒二 8中原（新商）六分四八秒 9松尾（新中）八分五秒

△千五百米 1片昌男（工學）二分三四秒七 2田村（新商）二分四〇秒八 3大谷（鑛發）二分四四秒 4方景河（市公署）二分四五秒五 5岡本（教員）二分五〇秒二 6鴨井（新商）二分五二秒八 7岡本（新商）二分五八秒 8潘（第二國）五分六秒六 9眞々田（新商）三分七秒 10具滋淑（市公署）三分七秒三 11角田（新商）三分一一秒七 12具滋根（市公署）三分一一秒九 13龜田（新商）三分一二秒 14白川（新商）三分二一秒 15江崎（新商）三分一一秒 16宋群生（第二國）三分二一秒八 17李盛國（第一國）三分三五秒 18神保（新商）三分三五秒七 19宋群僧（第一國）三分四四秒 20孫昔珊（第二國）三分四四秒五 21王允恭（第二國）三分五五秒一

△五千米 1片昌男（工學）九分一〇秒一 2岡本（教員）一〇分二七秒四

女子の部

△五百米 1大倉（錦丘）五八秒一 2中村（女高）六〇秒五 3高倉（敷島）六三秒二 4新谷（八島）六四秒二 5加悅（錦丘）六五秒二 6久野（敷島）六五秒六 7上野（錦丘）六六秒五 8加納（錦丘）六七秒五 9尾崎（錦丘）六七秒八 10森山（敷島）六八秒七 11下河原（敷島）六九秒二 12吉田（敷島）六九秒三 13關家（敷島）七〇秒四 14竹內（敷島）七二秒九 15嘉村（錦丘）八四秒四 16島瀧（敷島）一分一秒

△千米 1峰上（敷島）二分六秒 2中村（女高）二分九秒 3上野（錦丘）二分一七秒五 4片田（敷島）二分一九秒六 5森山（敷島）二分二三秒七 6竹內（敷島）二分三七秒三 7關家（敷島）二分四〇秒 8嘉村（錦丘）二分四二秒 9島瀧（敷島）二分四七秒 10大倉（錦丘）二分二秒

△三千米 1大倉（錦丘）六分四一秒五 2新谷（八島）七分九秒

△千五百米 1大倉（錦丘）三分一〇秒八 2峰下（敷島）三分八秒五 3片田（敷島）三分二〇秒四 4高倉（敷島）三分三一秒 5久野（敷島）三分三五秒 6吉田（敷島）三分四五秒四 7下河原（敷島）三分五四秒

ホッケー

△一回戰 教員4－1新京商D　一般7－5新京商C　新京中學4－0新京商B　新京商A19－0工大

△二回戰 一般18－2教員

新京商A9－0新京中學　尙決勝は十一日午後四時半より擧行の筈

アマチュア拳闘聯盟發會式

大滿洲アマチュア拳闘聯盟發會式記念試合大會は十日午後五時より西廣場滿鐵社員倶樂部に於て開催されたが奉天軍の參加を得て大いにアマチュア拳闘精神を發揮、對抗戰は新京軍の優勝となつたが頗る盛會であつた

公示催告

康德六年貲第一二四號

新京特別市大經路百號井上羅紗店事 申立人 井上意啓

左記證券の所持人ハ康德七年六月十五日迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且證券ヲ提出スヘク若シ右期日迄ニ屆出ヲ爲サザルトキハ直ニ證券ノ無效ノ宣告ヲ爲ス

證券ノ表示（重要ナル部分）
一、證券ノ種類　貨物引換證
一、證券ノ番號　第九一四號
一、證券額面額　金六千一百七十七圓六十九錢
一、證書作成年月日　昭和十四年七月十八日
一、證書作成者　京城府遂薬町三丁目四十一番地 株式會社朝日組本店
一、荷受人ノ住所氏名　新京特別市大經路百號井上羅紗店
一、運送品ノ種類　混紡國防色サージ

康德六年十二月七日

新京區法院
審判官　野口榮一郎

從事員募集

左記に依り日本內地人男女從事員を募集す
一、小學校中等學校卒業者（廿五歲以下）
一、各種商品の取扱に經驗の有る方（三十歲以下）
一、保安係員　身體强健にして內外の警備に適任なる方
一、運轉手（トラック運轉手の免許證を有する方）
一、寮母　獨身にして四十歲前後の方（當方獨身寮員十名の炊事を願ひたし）
一、締切　十二月十五日

右希望者は自筆履歷書に小形寫眞を添へ庶務係に來談され度し

羽衣町一丁目　電話（3）二八八六

滿鐵社員消費組合庶務係

大分縣人會員に告ぐ

今般大分縣下の豐州新報社員と稱する藤澤淸次郎なる者來滿、奉天、新京（新京支局は三笠旅館內に置き駐在員なし）に支局を設置し尙同人が今夏大分情報社、大分縣人活躍誌刊行會藤澤淸次郎なる名刺を以て在滿の大分縣人活躍誌刊行のためとて縣人を訪問し居たるも其の際は物にならず其儘滿洲を引上げたるに再度來滿當地にて一厘の寄附も後援もせぬため小生の事を云々し大分縣人活躍誌發行後援と稱し金品を要求し居るやに聞き及びたるも小生個人として又縣人會としても縣人の御迷惑は今回迄度々のこと故御紹介等なしたること無き爲玆に謹告するものなり

康德六年十二月十日

大分縣人會副會長
康德金融會社社長

佐野義臣

電話（3）五七七三番

淺春胡同【八】

工　清定
白崎海紀(繪)

百さん（1）

凍てついたまま飴色に變じた黃昏の光——街路の馬糞と煤煙が、小さな旋風に煽られると、鋪道を辷るやうに乘越えて、カフエ・アルメニヤの入口へ吹き寄せられた。扉がぎいつと鈍い音をたてた。

入口のモンステラに蔽はれたビクトロラのかげで、外の仄明るさをなよりに口紅をひいてゐた千也子は、その音に顏をあげてふりかへつた。

ボーイが火を入れたばかりのストオヴは、やつとぶすぶす燻りかけた位で、戸外のやうな底冷えが、まだホールを領してゐる。（こんなに早くから來る人なら百さん位のものよ。）彼女はさう思ひかへして、小さい鏡の中の唇を、また丹念にこするのだつた。

住込みの千也子は、姉美代子の容態が心配にならぬではなかつたが、その見舞のために、小半日の暇を主人から貰ふなどいふことは始めから出來ぬ相談だと諦めてゐた。姉がこの店に殘した借金を背負ふことが、妹として當然の義務である以上、彼女はその借金の人質たる自分が、人並みな贅澤を言へた筋合ではないと思つてゐた。

ここに勤めるやうになつてから知つた世界は、千也子の切れ長な眼をみはらせるやうな事柄に充ちてゐた。自分の十錢に對する觀念と客の十圓に對する觀念とが等しいことを初めて知つた時など、彼女は自分の少女時代が、涙々情なく恥かしいものに顧みられてならなかつた。

寸田といふ中年男を、新規の客として迎へた日、千也子の一〇對一〇〇〇の觀念が、更に一〇對一〇〇〇〇に飛躍した。——寸田の大きい財布から、無造作に抜き出されたのは、何と百圓紙幣だつた。黃昏の風のやうにはいつて來て、默り勝ちに紅茶を一杯啜ると、折目もつかない大きい紙幣で、勘定を求めた男が寸田だつた。

『なるべく日本紙幣が欲しいんだ。暫く見ないでゐると、無性になつかしくなつてね。』

千也子は生れてはじめての百圓紙幣を握りながら、無邪氣に言つた。

『だつて、こゝぢやそんなこと無理かも知れませんわ。そんなに日本のお札見たいんでしたら、いゝことあたし敎へてあげませうか。』

千也子の言葉へ寸田が武者振りついて來た。

『え？そりや、どんな手だい。ね、敎へてくれ、たのむから。』

餘りに眞劍なその表情に彼女は急に口を噤まざるをえなかつた。

『…………。』

『ね、ね、頼むよ。お禮はたんまりするから。』

『あの、父に……。あら、あたし言ふんぢやなかつたわ。』

彼女は子供みたいに卓へ瑞々しい顏を伏せた。

『君のお父さんが、どうしたんだい？ね、おい……。』

寸田の言葉は次第に角張つた。

『父があの滿蒙銀行につとめてゐますの……。』

『うん、さうだつたか。』

寸田の顏面筋肉が見る見るゆるんで來た。

『いゝえ、晝はあすこの雜役に雇はれて、夜はしがない燒鳥屋を開いてますのよ。』

千也子は一息に言ひ切つた。

『で、その燒鳥屋は何處だい？』

『三笠町通の、由良之助といふのですの……。』

彼女の聲は消え入るやうに小さかつた。

ラジオ　けふの番組

十一日【月曜日】【M・T・C・Y 新京放送局】

七、三〇（新京）建國體操
七、四八（大連）入港船のお知らせ
七、五〇（新京）ニュース
八、〇〇（大連）初等滿洲語講座
八、二五（大連）朝の音樂、交響曲百二番變ロ長調（ハイドン作曲）ボストン交響管絃樂團、指揮クーセヴィツキー
九、〇〇（新京）氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東・奉）經濟市況
九、四五（新京）建國體操
一〇、〇〇（大連）經濟市況
一〇、〇五（大連）幼兒の時間、うたのおけいこ（二）オトシハニツ（コカリ會指導吉際孝子）
一一、二〇（新京）家庭の時間、時局歌謠のお稽古（一）竹家彌七
一一、四五（大連）家庭メモ
一一、五〇（大連）料理獻立
一二、〇〇（新京）食料品値段
一二、三五（奉天）經濟市況
一二、四〇（東京）經濟市況
一二、五九（東京）時報
〇、〇一（新京）書の演藝、獨唱（泉膺子、ピアノ伴奏荻原英雅）かもめ（室生犀星作詞、草川信作曲）椰子の實（島崎藤村作詞、大中寅二作曲）心の子守唄（稲野耕哉作詞、宮原祁二作曲）渚邊の歌（林古溪作詞、成田爲三作曲）テラス（高木東六作曲）
一、〇〇（東・新）ニュース
二、〇〇（奉・遼）經濟市況
二、二〇（奉・連）經濟市況
三、二〇（東・京）經濟市況
三、三〇（新京）敎師の時間、一、國民歌、二、試
四、〇〇（東・新）ニュース
四、四〇（奉・連）經濟市況
五、〇〇（新京）ニュース、氣象通報
五、二〇（新京）演藝「鮮語」
六、〇〇（大連）子供の時間、童話劇「そら豆の煮えるまで」大連藝術座
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）趣味講演「兵隊と魔術」武藤夜舟
七、〇〇（東・新）ニュース、告知事項
七、三〇（新京）講演「吉林ダムを語る」吉林工程事務所長空閑德平
七、四〇（東京）物語「忠臣藏特輯」吉田澤右衛門
八、一〇（新京）吉林たより＝吉林演奏所より中繼＝漫談新井翠若、唄落合長雄、伴奏ハクサン・バンド
八、三〇（東京）時輯講演「世界の情勢と今後の貿易」經濟學博士木村增太郎
九、〇〇（甲府）府縣めぐり（二十）山梨縣の卷（野尻抱影、中村幸雄・他）
九、三九（東・新）時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

物語（忠臣藏特輯の四）吉田澤右衛門

小島政二郎 作　神田伯龍 演
【後七・四〇】【東京より】

五代目團十郎が大阪初上りの歌舞伎十八番市川流の荒事でヤンヤと喝采を博した頃、大阪の名女形神崎三輪野が遙々東をさして下ることになつた、丁度この頃、山科に閑居する大石内藏助の許から同じく赤穗浪士の吉田澤右衛門へ急の使者、澤右衛門が急いで大石の許へ赴くと直ちに江戸へ發足せよと命せられる、忽ち澤右衛門が旅仕度をして江戸表へ出發すると、その道中が大變、藩中でも役者澤右衛門といふ異名があつた位、當年とつて二十八歳顔るの美男である、處が名女形の神崎三輪野が東下りと聞いて手ぐすねひいたのは海道筋の川越人足、役者の道中ならば必らずタンマリと貰へるものと待ち構へてゐると知らず、吉田澤右衛門が大井川へ差掛つた、優奏なら人柄ならこれこそ音に聞いた女形の一座の者だと人足共から無理難題、澤右衛門は元より新蔭流の免許皆傳、斬つて通らば通れるが、主君淺野内匠頭の仇を報ずる大事な體、そこでならぬ堪忍をして危機を逃れやうとする、この時人足共を追ひかけて澤右衛門の急場を救つたのは女ながら任俠の聞え高い「あられのお浪」この女の力で首尾よくその場は切りぬけたが、身分の違ふ吉田澤右衛門にひそかな思慕を抱いたのはお浪であつた、やがて大事成つて亡君の仇を報じ、元祿十六年二月四日死を賜はつたが泉岳寺の澤右衛門の墓に詣でたのは「あられのお浪」であつた

東京・本鄉・神誠館
十二月十一日　舊十一月一日
月曜　壬午　大安　破　心宿

●一白の人　不滿を抑へ逆らはず今日一日の安きを圖れ　坤と艮と東が吉
●二黑の人　幸の滿てる日にて内外共に可ならざるなし　坤と巽と庚が吉
●三碧の人　理想を練り大いに進出する氣運を養ふべし　乾と丙と丁が吉
●四綠の人　不相應の事さへせざれば大いに發展すべし　乾と艮と丙が吉
●五黃の人　位置は低くとも目上の引立てのある日なり　東と西と巽が吉
●六白の人　人事に口を出さず家業を大切に勵むべし　丙と西と巽が吉
●七赤の人　勞多くして功少くとも決して倦むべからず　巽と庚と壬が吉
●八白の人　忠實に本分を守れば知らず識らず發展あり　丙と丁と東が吉
●九紫の人　誘ひに乘らず家業專一とし勵めば吉日なり　艮と丙と甲が吉

列車發着表

◎大連方面行
△大連行 前二時三十分
△奉天行 六時廿五分
△釜山行 八時
△奉天行 八時卅五分
△大連行 九時三十分
△營口行 十時三十分
△四平街行 十一時三十分
△奉天行 後一時五分
△大連行 一時四十分
△大連行 二時三十分
△大連行 三時廿五分
△四平街行 四時五十分
△釜山行 六時五十分
△四平街行 七時四十分
△大連行 九時四十分
△大連行 十一時十三分
△奉天行 十一時三十分

◎哈爾濱方面行
△哈爾濱行 前三時四十二分
△德惠行 五時十五分
△哈爾濱行 六時三十分
△哈爾濱行 八時十分
△哈爾濱行 九時
△哈爾濱行 後十二時五十二分
△哈爾濱行 三時十五分
△哈爾濱行 五時三十分
△德惠行 七時十分
△哈爾濱行 十時廿五分
△牡丹江行 十一時四十五分

◎圖們方面行
△吉林行 前七時五分
△羅津行 八時卅五分
△圖們行 九時四十五分
△吉林行 後一時
△牡丹江行 三時二十分
△吉林行 七時廿五分
△湾津行 十時五分

◎白城子方面行
△前郭旗行 前八時廿五分
△白城子行 十時五十五分
△白城子行 後五時三十分

◎大連方面より
△大連發 前三時卅二分
△大連發 六時十八分
△奉天發 七時四十五分
△大連發 八時
△四平街發 八時四十六分
△四平街發 九時四十分
△四平街發 十時卅二分
△釜山發 十一時四十二分
△奉天發 後十二時三十分
△大連發 三時
△大連發 四時二十分
△大連發 五時二十分
△營口發 六時十八分
△大連發 八時二十分
△奉天發 九時廿五分
△釜山發 九時四十五分
△奉天發 十一時三十分

◎哈爾濱方面より
△德惠發 前零時三十分
△哈爾濱發 二時二十分
△牡丹江發 六時五十四分
△哈爾濱發 七時十四分
△德惠發 十一時三十分
△哈爾濱發 後十二時五十分
△哈爾濱發 一時三十分
△哈爾濱發 三時十分
△哈爾濱發 六時四十分
△哈爾濱發 九時三十分
△哈爾濱發 十一時三分

◎圖們方面より
△湾津發 前七時五十三分
△吉林發 十一時廿四分
△牡丹江發 後二時十分
△吉林發 五時廿一分
△圖們發 八時四十分
△羅津發 九時三十分
△吉林發 十一時十五分

◎白城子方面より
△前郭旗發 十一時一分
△白城子發 後六時卅二分
△白城子發 九時五分